

新潟空港周辺騒音測定局位置図



地図出典：国土地理院ホームページ 地理院地図（電子国土web）を加工して作成

空港所在地情報

- 所在地 新潟県新潟市東区松浜町2350-4
- 位置 北緯：37° 57' 21" 東経：139° 06' 42"
- 標高 4.6 ft (1.4m)

※騒音対策区域線について
「公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」に基づく、告示上の騒音対策区域に関する縦覧図は新潟空港事務所にあり、本ページでは参考としての掲載となります。

新潟空港 航空機騒音監視測定局における航空機騒音測定結果

雲雀ヶ丘自治会館 （新潟県新潟市北区松浜4-3607-346）

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間値	WECPNL 年間値（参考）
平成31年	L d e n	57.8	57.2	57.7	57.7	57.3	57.4	57.0	57.3	57.0	56.9	58.4	57.5	57	74.3
令和2年	L d e n	56.7	56.4	56.5	53.4	50.8	51.6	54.0	54.7	53.3	53.7	54.6	53.8	55	71.2
令和3年	L d e n	50.3	50.6	52.0	53.5	53.4	52.0	52.2	53.1	52.0	53.0	53.4	54.8	53	69.5
令和4年	L d e n	54.5	53.4	55.1	55.4	56.1	56.5	56.0	56.6	55.2	55.7	56.0	56.0	56	72.3
令和5年	L d e n	55.8	56.3	55.9	56.1									56	72.8
令和5年	騒音発生回数	875	927	1,032	915									3,749	
令和5年	騒音の最大値の平均（dB）	84.1	84.0	83.6	83.9									83.9	

※平成25年度から航空機騒音に係る環境基準の改正により航空機騒音の評価指標が、WECPNLからLdenに変更されました。

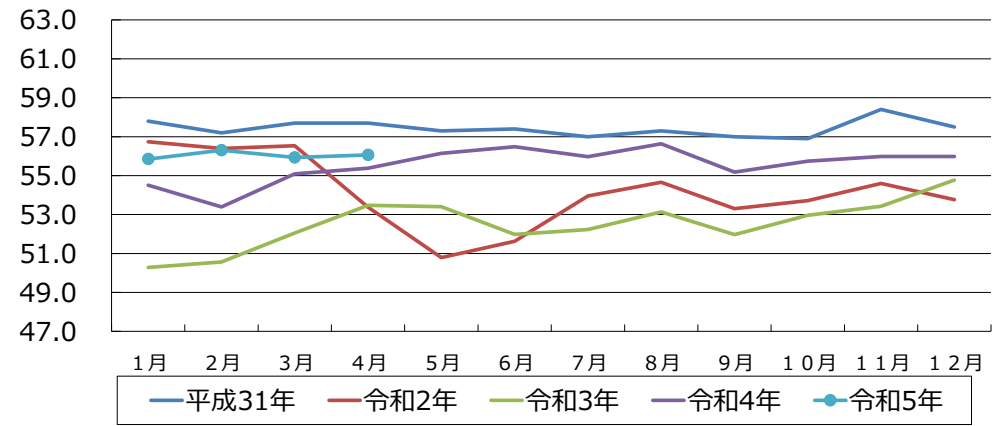
※Ldenとは、「時間帯補正等価騒音レベル」のことで、夕方の騒音、夜間の騒音に重み付けを行い評価した 1 日の等価騒音レベルを示します。単位はデシベル（dB）。

※WECPNLとは、「加重等価継続感覚騒音レベル」のことで、昭和48年から平成24年までの間において適用されていた航空機騒音に係る環境基準です。

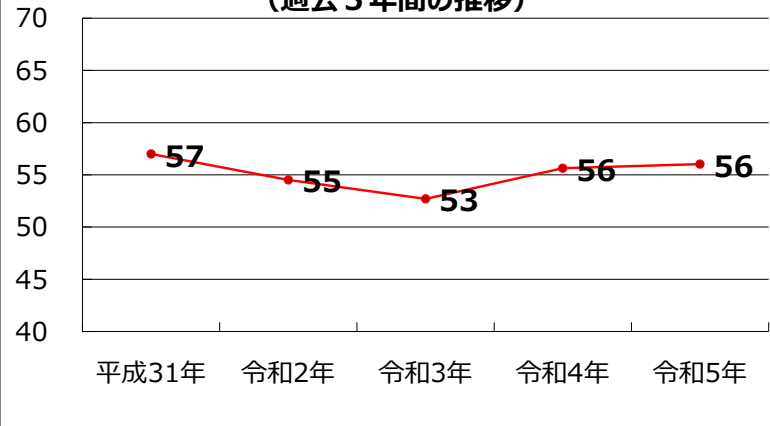
※騒音の最大値の平均は騒音の発生ごとに観測された騒音レベルの最大値をパワー平均した値であり、騒音発生回数とともにWECPNLの算出に用いられます。単位はデシベル（dB）。

※測定局更新のため平成30年12月12日は欠測

航空機騒音監視測定局における月間 L d e n の変化



騒音監視測定局における年間 L d e n の変化
(過去 5 年間の推移)



新潟空港 航空機騒音監視測定局における航空機騒音測定結果

船江保育園 （新潟県新潟市東区船江町1-50-33）

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間値	WECPNL 年間値（参考）
平成31年	L d e n	55.4	54.8	54.9	55.2	54.3	54.2	53.5	53.3	53.8	54.1	55.1	55.0	55	69.2
令和2年	L d e n	54.8	55.1	54.2	52.1	49.5	49.6	51.1	51.8	51.2	51.9	53.2	53.5	53	66.9
令和3年	L d e n	51.1	49.8	51.3	52.5	52.3	52.0	50.7	51.9	52.1	52.6	53.5	53.6	52	66.2
令和4年	L d e n	53.5	52.3	53.5	55.1	55.0	54.7	54.2	54.1	54.3	55.0	55.0	55.3	54	68.4
令和5年	L d e n	55.1	55.7	55.2	54.9									55	69.2
令和4年	騒音発生回数	908	944	1,206	1,009									4,067	
令和4年	騒音の最大値の平均（dB）	80.6	80.2	79.4	79.5									79.9	

※平成25年度から航空機騒音に係る環境基準の改正により航空機騒音の評価指標が、WECPNLからLdenに変更されました。

※Ldenとは、「時間帯補正等価騒音レベル」のことで、夕方の騒音、夜間の騒音に重み付けを行い評価した1日の等価騒音レベルを示します。単位はデシベル（dB）。

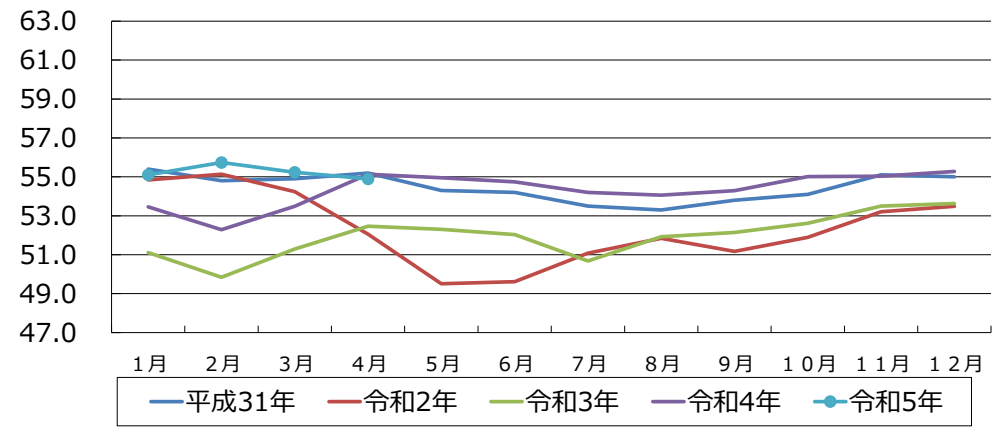
※WECPNLとは、「加重等価継続感覚騒音レベル」のことで、昭和48年から平成24年までの間において適用されていた航空機騒音に係る環境基準です。

※騒音の最大値の平均は騒音の発生ごとに観測された騒音レベルの最大値をパワー平均した値であり、騒音発生回数とともにWECPNLの算出に用いられます。単位はデシベル（dB）。

※測定局更新のため平成30年12月10日～12月11日は欠測

※電源設備故障のため令和3年7月8日～7月24日は欠測

航空機騒音監視測定局における月間 L d e n の変化



騒音監視測定局における年間 L d e n の変化
(過去5年間の推移)

